

専門試験- 上級- 福祉

〔 No.1 〕 社会福祉法人に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 社会福祉法人の所轄庁は、行う事業が二つ以上の都道府県の区域にわたるものについては厚生労働大臣であるが、それ以外の場合はいずれも、主たる事務所が所在する市町村にかかわらず、主たる事務所の所在地の都道府県知事である。
2. 社会福祉法人は社会福祉事業のほかには、公益事業を行うことができるが、収益事業を行うことはできない。
3. 2017（平成29）年4月に施行された改正社会福祉法では、社会福祉法人は、監事を選任することが義務付けられたが、評議員会の設置は引き続き任意とされた。
4. 2017（平成29）年4月に施行された改正社会福祉法では、社会福祉法人のうち、純資産の額が事業の継続に必要な額を超えるものについては、社会福祉充実計画を作成し、所轄庁の承認を受けなければならなくなった。
5. 2017（平成29）年4月に施行された改正社会福祉法では、社会福祉法人は、定款、収支計算書、現況報告書を所轄庁に届け出ることが義務付けられたが、公表については努力義務とされた。

[No.2] 地域福祉の担い手に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 市町村社会福祉協議会は、社会福祉を目的とする事業の経営に関する指導及び助言などを行う団体であるとされている。
2. 共同募金会は、地域福祉活動に対する資金の配分を行っており、その対象は国、地方公共団体及び社会福祉法上の社会福祉事業を經營する者である。
3. 民生委員は、非常勤の地方公務員として給与が支給され、社会奉仕の精神をもって、住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行う。
4. 特定非営利活動法人は、地域福祉活動を行うに当たり、収益を上げてはならず、活動の財源は寄附や会員の会費で賄わなければならない。
5. 市町村は、地域福祉計画の策定に当たり、住民の意見を反映させるために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

[No.3] リッツアの「マクドナルド化」論に関する次の記述ア～オのうちには妥当なものが二つあるが、それらはどれか。

- ア. マクドナルド化とは、マクドナルドに代表されるファスト・フード店が世界中で店舗数を増やしている現象のことであり、専ら外食産業で起きている事態を表す概念である。
- イ. マクドナルド化が進むことで、同質的な人々が結び付く機械的連帯から、異質な他者が相互依存的に結び付く有機的連帯へと、人々の連帯のあり方が変化する。
- ウ. マクドナルド化が進む過程では、効率性を高めるために、合理化が徹底されていくが、そのことはときに非合理的な帰結をもたらす。
- エ. マクドナルド化が進むと、マニュアルに沿って働くのではなく、個々の従業員の自由な発想に基づく創造的な働き方が奨励される。
- オ. マクドナルド化の否定的な影響の一つは、それが顧客や従業員の脱人間化をもたらすことである。

- 1. ア, イ
- 2. ア, オ
- 3. イ, エ
- 4. ウ, エ
- 5. ウ, オ